

三島駅南口再開発

# 「持続的発展の懸案」

## 市が説明会 参加市民から賛否両論

三島市は11日夜、三島駅南口周辺の開発に関する市民説明会を市民文化会館で開いた。市民約200人が参加。豊岡武土市長は再開発の進捗(しんちよく)状況や今後の進め方などを説明し、市民に事業への理解を求めた。

豊岡市長はホテル建設について「広域観光交流拠点として最も適



三島駅南口再開発について質問を豊岡市長に投げ掛ける  
参加者＝三島の市民文化会館

を利用し、東街区を「広域健康医療拠点」とし、マンションやジム、診療所など、西街区を「広域観光交流拠点」とし、ホテルなどの整備を図る考えを示した。また、東街区は2020年に着工、西街区は同年に完成の想定スケジュールも示した。

参加者は再開発の説明を受け、「西街区になぜホテルを建てるのか」「ホテルの完成は20年の東京五輪を目標としているだろうが、19年はラグビー・ワールドカップ(W杯)が開かれる。どうせ建てるなら前倒しできないのか」など質問を豊岡市長にぶつけた。

切なものはホテルだと考えている。さらにホテルを建てたいという事業者から手が挙がっているから」、建設の前倒しについては「ラグビー開催に合えば一番良いが、工程を考えると19年完成は難しい」と答えた。

豊岡市長は「三島が長年の懸案」と前置き、持続的に発展していくために南口の再開発は、これを説明した。民間活力